

# おばあさんと きれいな 絵

マッキントリックさんは、スコットランドの美しい田舎に住むおばあさんです。でも、貧しくて家賃がはらえないので、教会の人達が親切にも代わりにはらってくれていました。

心のやさしいブルース牧師は、毎月家賃のためのお金をマッキントリックさんに届けに来てくれていました。そんなある日のことです。マッキントリックさんとおしゃべりしていて、ふと牧師はこんなことをたずねました。「マッキントリックさん。教会の人達は、あなたの息子さんがどうして仕送りをしてくださらないのか、わからぬのです。息子さんは、オーストラリアで非常に良い仕事についているそうじゃないですか。」

「ウイリアムは、とってもいい子だわ。必ず毎週のように、手紙を書いてくれるのよ。ちょっと見てみませんか?」と、マッキントリックさんが言いました。

母親をそれほど愛しているのに、なぜ仕送りをしてくれないのだろうと不思議に思いながら、牧師はウイリアムの手紙を見せてもらうことにしました。

マッキントリックさんは、二つの包みを持って部屋からもどってきました。そして、その一つをブルース牧師に渡しました。

ブルース牧師がたばねてあるひもをほどいていると、マッキントリックさんがこんなことを言いました。「ウイリアムは、手紙といつしょに、いつも小さいきれいな絵を送ってくれるよ。」



ブルース牧師は、ますます 不思議に思いました。「手紙といつしょに、毎回 絵を 送ってくれるのですって？ その 絵を見せていただけますか？」

「ええ、もちろんだわ！」 そう 答えると、マッキントリックさんは もう一つの 包みの中身を 牧師に 渡しながら 言いました。「男の人の顔だつたり、馬に乗っている姿だつたり、王様の絵もあるのよ。『王様、万歳！』と書かれているわ。」

それを 聞いた ブルース牧師が おどろいて 言いました。「息子さん、万歳！ マッキントリックさん、あなたは お金持ちじゃないですか！ このきれいな 絵は 全部、お金ですよ。あなたの家には ずっと、息子さんからの 多額の 仕送りが 眠っていたというのに、この おれが 全部、ただの きれいな 絵に すぎないと 思って、こんなに 長い間、お金が 足りなくて 不自由な暮らしをしてこられたなんて！」



大勢の人達が、聖書に書かれている約束を それと 同じように、ただの すてきな 言葉、つまり「きれいな 絵」と 思っています。けれども、神様の み言葉に 書かれた 約束は、神様が私達の 世話を してくださいと いう私達の 信仰を はげまし、必要な 時には いつでも 助けを 求めるために あるのです。

聖書には、こう 書かれています。「[主によって]、尊く、大いなる 約束が、わたしたちに 与えられている。」(口語訳聖書、ペテロの 第二の 手紙 1:4)